

高等学校第1学年英語科学習指導案

鹿児島市立鹿児島玉龍中・高一貫教育校

授業者：富田朱里

1 日時：令和2年11月6日(金)

2 学級：1年6組

3 科目：コミュニケーション英語 I
(教科書：FLEX, 増進堂 -Lesson 7: "Virtual Water")

4 学級の実態

1年6組は40名の生徒が在籍している。クラス内の学力の幅は広範囲にわたっているが、英語学習に対して熱心に取り組み、学力を伸ばしたいと考えている生徒がほとんどである。授業にも非常に意欲的に取り組む一方で、自分の能力に自信が持てない生徒も存在し、もっと自信を持って英語を使って表現できる力を身につけたいと考えている。

英語の授業においては生徒の苦手意識や間違えることへの恐れを取り除くために、普段からペアワークやグループワークを取り入れている。授業を通して、生徒にはできるだけたくさん英語を使用する機会を与え、達成感を味わってもらいたい。さらに、基礎的な英語力を培いながら社会で通用する語学力を育成していきたい。

5 本課の概略：Lesson 7 "Virtual Water"

本課では、ものを生産するために使用される水の量を示す "Virtual Water" (仮想水) の概念を導入し、水に関する問題を提示し、限りある資源について考えさせることをそのねらいとしている。日本は世界平均の2倍の降水量を誇り、真水に恵まれることでよく知られるが、大量の「仮想水」を他国から輸入しているのが現実である。さらに、食糧自給率が低く、多くの食品を輸入している日本であるが、それらが売れずに廃棄されているという問題がある。この問題を解決すべく、水が大切な資源であるということに生徒一人一人が気づき、自分にできることは何かを考えてもらいたい。

6 本課の目的

- (1) 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- (2) 読解力を身につけ、内容理解を深める。
- (3) 文章をまとめたり、要約したりする力を育成する。
- (4) 読んだり聞いたりしたことについて、自分の考えを英語で表現する力を育成する。
- (5) 語彙力の強化
- (6) 文法事項の習得
(A) 関係代名詞の非制限用法 (B) 前置詞+関係代名詞 (C) 関係副詞

7 単元の評価規準

観点		評価規準
A	コミュニケーションへの積極性	(1) 積極的に活動に参加しようとしている。 (2) 相手の言うことを理解しようとしたり、意見を交換しようとしたりしている。
B	外国語表現の能力	(1) 自分の考えを英語で表現することができる。 (2) 理解した内容の要点を英語で他者に再話することができる。
C	外国語理解の能力	(1) 本文の内容の概略を掴むことができる。 (2) 質問された内容を理解し、考え、答えることができる。
D	言語や文化についての知識・理解	(1) 語句や表現の意味や用法を理解している。 (2) 語句を正しく発音することができ、構文の運用を理解している。

8 本課の指導計画

第1時 Introduction / Grammar

第2時 Comprehension of part 1 What is “virtual water”?

第3時 Comprehension of part 2 Why is Japan a heavy user of virtual water?

第4時 Comprehension of part 3 How have Japanese eating habits changed?

第5時 Comprehension of part 4 How much of the food you see in stores in Japan is thrown away?

第6時 Retelling / Expressing ←本時

9 本時の目標

- (1) ICT 機器を活用して自分のスピーキングを録音して聞き直すことで、英語表現力の流ちょうさ (fluency) だけでなく、正確さ (accuracy) を養う。
- (2) “Virtual Water”とは何か、また日本がどれだけの量を輸入しているのか、そしてその問題点について理解し、内容を英語でまとめ、相手に伝える表現力を育成する。
- (3) “Virtual Water”に関する問題を理解し、それに対する自分なりの解決策を英語で伝える表現力を育成する。

10 本時の展開

学習活動	時間 (分)	指導上の留意点	□ICT 活用の意図 ◆情報活用能力の育成	規準	技能
1 Review Q and A 2 Preparation for Retelling	10	1 液晶スクリーンに関連の写真を見せながら本文の内容を復習させる。 2 板書によるキーワードやスクリーンを用いながら、話す内容を考えさせる。 ※メモはとらない。	□ 写真を見せることで、既習内容を効果的に思い出させる。	A/C/D	R/L/S
3 Recording and Practice 4 Retelling 1回目 (pair work) ※相互に録画する。 5 Feedback 6 Retelling 2回目 (pair work)	20	3 生徒は各自タブレットを用いて、自分の発表を録画する。 4 練習を元に、相手が理解できるように本文の内容を伝える。 5 録画したものを再生し、自己評価を行う。 ※段階的に自分の言葉を使って表現できるようにタスクを与える。	□ 録画した音声を聞くことで、発音やイントネーション、さらに文法的な誤りを正させる。 □ 音声だけでなく、表情や身振りも録画することで、コミュニケーション能力の育成を図る。 □ 客観的に自分の英語を聞くことで、反省と評価をさせる。	A/B/D	L/S
7 Expressing	食料・水問題について日本の現状とその課題の解決策について考察する				
	20	7 Virtual Water から見える日本が抱える課題について、自分の意見を交換する。	◆ 日本が抱える課題について、事前に調べておいた資料を用いて、相手に自分の意見を効果的に伝えようとさせる。	A/D	L/S